

2020 年度 大阪府高等学校・中学校私立総合体育大会（ゴルフ競技の部） 新型コロナウイルス感染症に対するガイドライン

大阪府高等学校・中学校ゴルフ連盟

行動規範

新型コロナウイルス感染を避けるため、大会期間中は連盟が決めた下記の事項を順守し、連盟の指示に従ってください。

- ① 大会前は、感染が発生している地域への移動は控えること。また、大阪府下であっても移動・行動には十分注意すること。
- ② 以下の事項に該当する場合は自主的に参加を見合わせること。
 - ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ウ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察機関を必要とされている国、地域等 への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ③ 試合会場へは必ずマスクを持参し、プレー時以外は常に着用すること。特にクラブハウス内、マスター室前、バック置き場など共用スペース、パッティンググリーン上は着用を厳守すること。
- ④ こまめな手洗いを行うこと（30 秒程度かけて水と石鹸で丁寧に洗う）。
- ⑤ 設置している消毒用アルコール剤で手指消毒を実施すること。
（アレルキーその他、個々の手の状態により③のみでも可）
- ⑥ 口・鼻・目に不用意に触れないこと。
- ⑦ 可能な限りソーシャルディスタンス（約 2m）を保つこと。
- ⑧ 競技中に大きな声で会話、応援等をしないこと。
- ⑨ 旗竿に触れることを極力避けること。
- ⑩ 公式練習・試合当日の朝は体温を測定し健康チェックを行うこと。
- ⑪ 出場選手は、体調不良を少しでも感じたらコース上すべての人のために競技を棄権し委員会に申し出ること。
- ⑫ 試合当日、チェックシートを連盟へ提出すること。
- ⑬ 大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、連盟に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- ⑭ 万一、大会期間中に陽性者が会場にいたことが判明した場合、二次感染の予防のため連盟から状況をお知らせする。
（取得した個人情報とは、緊急連絡時以外は使用しません）

大会での感染予防策

- 委員会の取り組み
- 選手の行動

◆クラブハウス

- クラブハウス内の換気を実施します。
- 消毒用アルコールを各所に配備します。
- 非接触型の検温器による検温を実施します。
(37.5℃以上の場合は、出場の可否を連盟で協議します)

◆フロンツト

- ~~チェックインは記帳せず、スタート時刻と氏名を告げること。~~
- 選手へのインフォメーションボードは、密を避け分散して掲示します。

◆ロッカーの振分け

- 同時に使用する人数や各選手のスタート時刻を考慮します。

◆トイレ

- 便座除菌クリーナーを設置します。

◆レストラン

- アルコール消毒を定期的かつ随時行います（テーブル・椅子など）。
- テーブルは一定の間隔で配置します。

◆スタート時刻

- 大会のティータイムは 8 分間隔とします。
- スタート地点には、スタートする組だけが 10 分前に集合すること。

◆スターター

- ソーシャルディスタンスの確保のため、選手との間隔を開けて机を配置します。
- 追加のローカルルール等の説明は、口頭による伝達ではなく文書で配布します。
- カードを含めた配付物はテーブルに置くので、選手自身で取ること。

◆アテスト

- アテストの前後に各自でアルコール消毒をすることとします。
* 以下のローカルルールを追加します。
- ソーシャルディスタンスの確保のため、間隔を開けるようにします。

◆競技委員・マーシャル

- コース内を巡回する際、他の競技委員との乗用カートの共用を避けます。
- 選手との会話の際のソーシャルディスタンスの確保を心掛けます。

◆成績表示

- 密の状況を避けるため、成績表示は大阪府高等学校ゴルフ連盟のホームページに随時更新します。

◆表彰式

- 換気の状態や広さと、出席する人数（密度）を勘案して実施します。

大会開催における基本方針

◆開催可否の判断

- ① 政府及び自治体の見解
- ② 大会開催地自治体の状況
- ③ 選手の状況及び動向
- ④ 他のスポーツの動向
- ⑤ JGA 及びプロトーナメントの状況

◆大会実施の制限

- ① 無観客開催
- ② 非公開開催
- ③ 大会中止

◆緊急時（荒天時）の対応

- 密の状況を作らないように早めに中断を決定します（避難時間の確保）。
- 避難ツール（車両・乗用カート）の十分な量を確保します。

◆ギャラリーの制限

- 出場しない選手、選手の家族を含め大会関係者以外の入場をお断りします。
（選手の家族は送迎のみまたは駐車場に待機）

◆選手及び関係者から疑い例が出た場合

- 自覚症状を確認し、所轄保健所に相談する。
- 該当者から濃厚接触者の有無等について聞き取りを行う。
- 集団発生に対するリスク管理を行う。

◆選手及び関係者から PCR 検査の陽性反応が出た場合

- 会場に感染者がいたことを公表する。
- 該当者から、当日の交通手段、会場内での行動ルートの聞き取りを行う。
- 緊急対応病院または所轄保健所の指示を仰ぐ。
- 大会を中止にするべきかどうかを検討する。